

みうらトーク&トーク 平成 28 年度第 2 回

日 時

平成 28 年 10 月 13 日(木)

13 時 30 分～14 時 30 分

参加者

三浦市交通安全母の会

テーマ

私たちの交通安全

三浦市長あいさつ

三浦市交通安全母の会 会長あいさつ



<意見交換・概要>

市民 三崎地区は道路が狭いので、道路の見通しが悪い所が多々あります。少し削ってくれたら車の見通しが良くなる箇所や、植木を切ってくれれば見通しが良くなる箇所など。なので、市民などが集まる際に、市役所から「通学路でこういう問題がある」ということをおっしゃっていただけたら、そのお家の方も「植木を切った方がいいかしら」と気付いてもらえるのではないかと。

また、パトロールの際に直接植木を切っていただけるようお話はしていいのでしょうか。

市長 言うのも大変だろうし、言われた方も人によって千差万別あると思います。そういった時に言うのは市の仕事です。

市民 その場合は、何課のほうへ連絡をさせて頂けばいいのでしょうか。

市長 市民サービス課の、相談受付のところへお願いします。また、一番早いのは「目安箱」です。一種の目安箱ですが、これは必ず直接目を通し、各部へ行くようにしています。

市民 それはどこに設置してあるのでしょうか。

市長 手書きの紙は市民センターや、窓口にもあります。また、市のホームページにもございます。無記名の投書につきましては、基本的には担当課に回しますが、回答ができません。

市長 通常は各地区が窓口となり、区長さんとのやり取りが一般的なのですが、例えば母の会の皆さんが通学路の点検をし、何かが見つかった場合はどうしているのでしょうか。

市民 以前は教育委員会と市の土木課の方に「この箇所がこうなっていたので、このような改善が必要だ」という報告書を県のほうへ上げていただいております、私どものほうにも、その報告をしていただきました。

昨年度は回答がありませんでしたが、土木課の方と一緒に点検に回っていただきました。

市長 しかし、市が何もしなかったらそのままになってしまいます。なので、ちゃんと回答させるような仕組みにしておかないといけないですね。

市民 昨年は土木課の方も一緒に見て頂いて、通学路の交通だけで無く、防犯上でも危ない箇所の点検をしてくださったと思います。金田の崩れそうな崖もきれいになっており、結果としては点検をさせていただいてよかったと思います。

市長 そういったことはどんどん言ってもらっていいと思います。

市民 初声小学校前の、高円坊からの道をダンプカーがスピードを出して走って来る。小学校の前の横断歩道は信号も無く、登下校の時間には校長先生が出ている。そもそもマルイ食堂の方から来た場合、角度の問題で車から横断歩道が見えづらい。なので、そこだけ緑色にし、岬陽小のように一部だけを「ここは小学生が通ります」と分かるようにすれば、スピードを緩めてくれたりするのではないかと思います。信号をつけたほうがいいのかどうなのか、ぜひ検討してください。

市長 検討いたします。

市民 ダンプカーに関してですが、ダンプ同士がすれ違う時にクラクションを頻繁に鳴らしています。国道沿いに住んでいる方々は、1日に何回もその音を聞いており、ご老人や、歩いている時に鳴ると驚いてしまいます。なので、業者さんがわかれば直接の指導や、騒音対策もしていただければいいなと思います。

市民 神田黒崎会館付近の側溝が道路より下がっています。交通量が増えてきたのですが、歩道のところが狭く、車がすれ違う場合は斜めに下がってしまうのですごく危険です。工事していただいた箇所は道路が広がった感じがし、歩くときもとても楽になりました。こちら、何かの時の計画などに入れて頂けるとありがたいです。

市長 わかりました。土木課に伝えます。

市民 高円坊の初声保育園の前、入江の子どもたちが通学路にあたる向かい側の道路に渡る時、車が来ないのを見計らって渡ってきています。なので、そこに横断歩道を作ってくださいとずっと言い続けています。

また、高円坊から宮田まで道路が整備されて幅が広がりましたよね。そのため、住民では無い方の車が非常に増え、走行スピードも上がっています。なので、道路が良くなったぶん危険性も増えてきているのではと思います。

市長 現在、初声の地区は工事が重なっていますし、これから神田、黒崎の大型の開発の話も進んでいきます。そこで、例えば子どもたちの通学路で、横断歩道の不備など交通安全について、母の目線でチェックしていただき、お知らせいただくような活動はとても良いと思います。

今はダンプカーも多い時期なので、横断歩道などはきちんとしなければいけないですね。警察とも協議いたします。

市民 昨年も、マホロバの下の子ブンイレブンの前に横断歩道を作っていただきたいと報告いたしました。子ども達を通る場所なのに、横断歩道も信号もないので。

三崎警察署の交通課では、すぐ先に信号が付いているので、その信号を持ってくるしかないと言われました。

市長 信号の設置は警察の公安委員会が、標識やカーブミラーなどは市が担当しております。高円坊の、三浦海岸と武山を結ぶ道は事故多く、信号を付けてほしいと要望がずっと出ています。しかし、そちらも付いていないのが現状です。

マホロバの下の話も多く要望があるのですが、交差点内にバス停があるので、バス停の移設が前提なんですね。

市民 そういった要望は1回だけでなく、毎回調査をし「こういった結果が出ています」と実績を積み重ねて要望した方がいいのでしょうか。

市長 要望やチェックした記録などを持っていただいていると思います。何も直っていない箇所などがあった場合、そちらを市や警察がチェックし「これはいつまでにできるのか」「なぜできないのか」という理由を判明させる必要があります。

市民 役所のほうに「ここを直してください」とお願いすると、その箇所のみを直す場合が多々あります。私たちは諸磯公園を掃除しているのですが、タイルが剥がれてくると段差が出てきます。そこが危険なので補修していただいたのですが、その付近も段差が出てきているのです。しかし、そちらは補修していただけませんでした。

もう少し全体を見ていただきたいと思います。

市長 それは口を酸っぱくして言っています。今回もそういったご意見があったということは知らせますし、きちんと公表もいたします。

市民 お母さんたちの目線での話ですので、どうしても道路などの土木関係の要望が圧倒的に多いですね。

市長 日常生活の中で目に付きますからね。スクールガードが学校ごとに集まりを催し、意見交換の場を作った方がいいのではと教育委員会などにも言っています。

市民 三浦市の特色かもしれないのですが、高齢者の自動車の運転がすごく多いと思う。何か行政側で、技術的におぼつかなくなってきた方々に自分から意識をさせるような取り組みをしていただければと思います。免許証の更新は3年に1回あり、75歳になると自動車学校行って技能の実技を行うのですが、正直3年に1回だと長いのでは。そういった話題を、市民が集まる場で、行政なり警察の方が話をしていただけると家族の中でも話しやすいのかなと思います。

市長 三浦市は高齢者の事故が圧倒的に多いです。ですから、老人クラブの集まりなどのときには、交通課の方が来てお話しをする機会を作ってます。

市民 市内のバスにつきまして、油壺から城ヶ島や、油壺から下町というところの路線がないですね。油壺から三崎口はあるのですが。

市長 土日だけになってしまいましたが、西海岸線を通るルートを作りました。

市民 それは良かったのですが、城ヶ島や通り矢、三崎東岡までのコースがほとんど無い。1日に4～5本しかないと思う。なので、油壺からこちらに買物に来たいという方が非常に不便であり、年を取ると余計に車が無いと買物ができないのでは。

市長 バスについては簡単に答えることができませんが、ご要望は多いです。今、富士スーパーさんは大きなワゴンだったのがマイクロバスになり、ぐるぐる回ってくださっていますね。いずれにしても身近なご要望なので、いろいろな面で京急バスと調整はしています。城ヶ島行きのバスも近頃お客さんが増えているので、市立病院前を通って行くバスをこれから増やしていこうと思っています。

市民 引橋にベイシアが出来ると聞いています。あそこの交通は勿論専門家の方考えてくださると思いますが、うまく考えていただかないと渋滞するのでは。

市長 警察協議をすでに行っていますが、いろいろ条件もあります。現在、消防署を作っているのですが、そちらは3月にできる予定です。来年の4月から横須賀市消防局三浦署になり、横須賀市消防局の三浦署になります。三浦市にいる消防職員はすべて横須賀市の職員に転籍し、身分が変わるのです。ただ、三浦市消防団は三浦市として、三浦署と連携していきます。消防の関係業務は三浦市の防災課が担当するようになるのです。しかし、機能としては広域になりますので組織の上では変わるのですが、機能的には全く変わりません。

また、引橋分署と病院の前の分署が一緒になります。下町に三崎分署があるのですが、そこには救急車を1台配置し、海際の事故対応の機能を強化いたします。

市民 心配している方もいらっしゃるのでは。

市長 今より良くなります。その脇のベイシアが事業提案をし、これから工事をはじめるのです。現状は、学校があった場所ですので「土地利用」といって、土地の利用制限があるのです。なので、店舗を配置するのには、今の条件を商業やお店でもできるような用途に変える必要があります。グラウンド側はまだ何も決まっていないので、そちらの構想を作らないと全体の利用計画が出来ません。

ベイシアが出るのはすぐではなく、2年後程になると思うのですが、小網代の森入口の信号を利用して道路付けをいたします。最終的にはそちらが進入路になる予定です。そして、グラウンド側の道路を拡張し、信号で右折ができるようになる準備をしています。警察との協議とはそういう形ですることになっています。

しかし、三浦海岸のほうから上って進入するには、引橋の信号を右に曲がり、さらに信号を右折し、ぐるっと回らなければいけない。それがやはりネックになりますね。商売として考えると、2回も回って入るというのは、やはり上ってきてすぐに右折出来た方がいいと思います。大きな交差点に近すぎるので、信号をもう1つ作るというのはできないのです。こういったハードルがいろいろあり、多少遅れ気味ではあります。

南下浦市民センターも老朽化しているので、民間資本で公民館と、子育ての皆さんが入れるよう、子育て住宅を検討しています。

市民 初声市民センターも老朽化していますね。

市長 初声も合わせて。南は駅の間近なので民間事業者のニーズが高いです。初声もこれから次のステップで検討しています。そうすると、市役所も何らかの動きがあればいいなと思いますが、あまり焦らず。

三浦市は貧乏していると言いますが、二町谷の埋立の残債を整理したので、それがないはずと財政状況はいいです。

三浦市はやはり一次産業がメインなので、一次産業の従事者が多く、国民健康保

険の加入率も他より10%以上多いのです。国民健康保険は毎年、皆さんが税金で補填していますから。その保険の額を減らすには保険料を上げるしかないのです。

市民 やはりお年寄りが多いからですか。

市長 それもありますが、やはり一次産業が多いので。
今は二町谷の処理の関係があり、厳しい環境が続いているのですが、そこが上手く処分でき、税が上がるような構造になれば、財政的にも負担の無いまちになる。

市民 今日はいろいろなお話、直接伺えてありがとうございます。

市長 交通安全母の会の皆さんも地道にご活動いただいていますので、是非きちんとチェックしてフォローをできるように一緒にやらせていただけたらと思います。よろしくお願いします。

※ 公表については了承を得ております。